

用語解説編

か行

■減農薬栽培

通常よりおおむね五割以下に農薬の使用を削減して栽培すること。

■コミュニティ

人々が共同体意識を持って共同生活を営む一定の地域及びその人々の集団のこと。

さ行

■災害時要援護者

必要な情報を迅速かつ的確に把握し、災害から自らを守るために安全な場所に避難するなどの災害時の一連の行動をとるのに支援を要する人々（高齢者、障害者、外国人、乳幼児、妊婦等）。

■栽培漁業

水産動物の減耗が最も激しい卵から幼稚仔の時期を人間の管理下において種苗を生産し、これを天然の水域へ放流した上で適切な管理を行い、対象とする水産動物の資源の持続的な利用を図る。

■3R運動

ゴミを減らす「リデュース」、限られた資源を繰り返し使う「リユース」、資源を再利用する「リサイクル」の3つの意味。有限な資源を守り育てることを目的とした運動。

■資源管理型漁業

漁業の主役である漁業者が主体となって地域や魚種ごとの資源状態に応じ、資源管理を機動的に行うとともに、漁獲物の付加価値向上や経営コストの低減などを図ることで、将来にわたって漁業経営の安定、発展を目指す漁業。

■社会教育関連施設

家庭や学校の外で、児童から青年、成人、高齢者に至るまですべての年齢の人が、学習や研修、スポーツや趣味に興じたり、楽しむ機会を提供されることが出来る生涯学習のための施設。

■循環型社会

環境への負荷を減らすため、自然界から採取する資源をできるだけ少なくし、それを有効に使うことによって、廃棄されるものを最小限に抑える社会。

■常備消防

消防組織法に基づいて市町村に設置される消防本部や消防署をいう。

■新エネルギー

風力や太陽光、水力といった自然現象を利用する再生可能なエネルギー。

■森林吸収源

森林は、植物の光合成により二酸化炭素を吸収し、生命活動に使用することで吸収源となる。森林が表層土壌を保持することにより、土壌の侵食や流出を防ぎ、土壌が持つ吸収能力を高める二次的効果もある。

■生活習慣病

過食、運動不足、飲酒、喫煙、ストレスなど、その人のゆがんだ生活習慣に加齢並びに遺伝的要因が加わって起こる病気で、高血圧、肥満、糖尿病、高脂血、動脈硬化症、心筋梗塞、脳梗塞、脳出血、肝臓病、大腸がん、肺がんなどを総称。

た行**■特定健康診査**

メタボリックシンドローム（※内臓脂肪症候群）の要因となっている生活習慣を改善させ、高血圧や高脂血症、糖尿病などの予備群を抽出することを目的とした検査。

■特別支援教育

障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行う。

■トレーサビリティ

野菜や魚などを「だれが」「どこで」「どのように」作ったのかが分かるように、生産履歴を確認できるシステム。

な行**■農業用廃棄物**

農業から出る塩化ビニール、農業用ポリエチレン類、廃農薬（期限切れ農薬や農薬名が不明のものなど）、ハウスの廃資材（鉄骨など）など。

■ノーマライゼーション

障害のある人もない人も、高齢者も若者も、すべての人が普通（ノーマル）の生活を送るため、ともに暮らし、ともに生きていける社会こそノーマルである、という考え方。

は行**■ブランド化**

銘柄の確立。

■ボランティア

「志願者」「有志者」という意味を持つ言葉で、誰もが、自分でできることを自分の意志で周囲と協力しながら無償で行う活動のこと。

ら行**■ライフライン**

生活・生命を維持するための水道・電気・ガス・通信などのネットワークシステム。

■レクリエーション

仕事などの拘束あるいは強制によって緊張し疲れた肉体と精神を回復させ、新たなエネルギーを生み出すために、余暇（レジャー）を利用して行われる活動全体をいう。